

## 質問書に対する回答

件名) 横浜新道 京浜管理事務所管内舗装補修工事

No.	質問箇所	質問事項	回答
1	設計図 2/98	<p>横浜新道YS-4のレベリング工 B-YS（夜）の数量が358.7 t と表記されています。施工延長347m × 幅員8.75m × 平均舗装厚（仮0.11m）× 基準密度（仮2.42）＝808 t になります。358.7 t であれば平均舗装厚は約0.05m程になります。当初設計では、どのようにお考えでしょうか。</p>	<p>YS-4横浜新道下り線保土ヶ谷高架橋第一走行車線の施工については、設計図59/98に示すP19橋脚からA2橋台間の距離からジョイント分を控除した延長154mについてレベリング工 Bを行うものです</p>
2	設計図 5/98	<p>横浜新道YS-4の路面切削工 A3-YS（夜）の数量が479m<sup>3</sup>と表記されています。施工延長 347m × 幅員8.75m × 平均切削厚0.11m × 2回＝668m<sup>3</sup>になります。479m<sup>3</sup>であれば平均切削厚は約0.08m程になります。当初設計では、どのようにお考えでしょうか。</p>	<p>YS-4横浜新道下り線保土ヶ谷高架橋第一走行車線の施工については、設計図59/98に示すA1橋台からA2橋台間において2回切削を行うものです。1回目はP19橋脚からA2橋台間の距離からジョイント分を控除した延長154mにおける路面切削について、平均摩耗量を考慮した平均切削厚を用いて計算、2回目はA1橋台からA2橋台間の距離からジョイント分を控除した延長347mにおける路面切削について、平均切削厚を用いて計算し、路面切削工 A3-YS（夜）は計479m<sup>3</sup>としています。</p>